

1 決算総括表

(単位:百万円)

区分 事業名	収益的収支			資本的収支		
	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A)-(B)	収入 (C)	支出 (D)	差引 (C)-(D)
電気事業	(7,925)	(5,821)	(2,104)	(173)	(2,484)	(△ 2,311)
	7,539	6,021	1,518	249	3,588	△ 3,339
工業用水道事業	(2,206)	(1,613)	(593)	(798)	(1,491)	(△ 693)
	1,890	1,655	235	379	1,083	△ 704
水道事業	(11,497)	(20,781)	(△ 9,284)	(458)	(3,336)	(△ 2,878)
	4,868	3,642	1,226	9	2,846	△ 2,837
団地造成事業	(5,694)	(5,248)	(446)	(74)	(1,583)	(△ 1,509)
	1,133	1,249	△ 116	212	4,139	△ 3,927
施設管理事業	(736)	(697)	(39)	(40)	(317)	(△ 277)
	675	1,280	△ 605	43	270	△ 227
合計	(28,058)	(34,160)	(△ 6,102)	(1,543)	(9,211)	(△ 7,668)
	16,105	13,847	2,258	892	11,926	△ 11,034

(注) 本表以下、金額はいずれも消費税抜きの金額で、()内は前年度決算額です。

2 損益の概要

(1) 総括表

(単位：百万円)

区 分		事業名					
		電気事業	工業用水道事業	水道事業	団地造成事業	施設管理事業	合 計
2年度 (A)	主たる収益(注)	7,421	1,584	4,282	1,061	636	14,984
	経常損益	1,518	230	1,216	△ 120	△ 43	2,801
	特別損益	0	5	10	4	△ 562	△ 543
	純 損 益	1,518	235	1,226	△ 116	△ 605	2,258
元年度 (B)	主たる収益(注)	7,721	1,591	6,133	5,633	714	21,792
	経常損益	2,071	314	1,861	496	39	4,781
	特別損益	33	279	△ 11,145	△ 50	0	△ 10,883
	純 損 益	2,104	593	△ 9,284	446	39	△ 6,102
増 減 (A)－(B)	主たる収益(注)	△ 300	△ 7	△ 1,851	△ 4,572	△ 78	△ 6,808
	経常損益	△ 553	△ 84	△ 645	△ 616	△ 82	△ 1,980
	特別損益	△ 33	△ 274	11,155	54	△ 562	10,340
	純 損 益	△ 586	△ 358	10,510	△ 562	△ 644	8,360

(注) 「主たる収益」は次のとおりです。

- 電 気 事 業：販売電力料 ○ 工業用水道事業：給水収益 ○ 水 道 事 業：給水収益
 ○ 団地造成事業：産業団地等の分譲収益 ○ 施 設 管 理 事 業：格納庫及び賃貸ビルの賃貸収益、ゴルフ場の使用収益

(2) 事業別損益の状況

① 電気事業

(単位：百万円)

区分	供給電力量 (kWh)	販売電力料	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
2年度(A)	761,020,761	7,421	1,518	0	1,518	降雨量の変動、発電所の保守や計画外停止等により、供給電力量が前年度に比べて12.7%減少したことから、販売電力料が3億円減少し、純利益は前年度に比べて減少し、15億18百万円となりました。
元年度(B)	872,145,789	7,721	2,071	33	2,104	
増減(A)-(B)	△ 111,125,028	△ 300	△ 553	△ 33	△ 586	

② 工業用水道事業

(単位：百万円)

区分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
2年度(A)	45,430,890	1,584	230	5	235	給水実績、給水収益ともにほぼ前年並みでしたが、修繕費などの費用が増加したことから、経常利益は前年度に比べ減少しました。また、前年度にあった受水企業の契約水量減量に伴う負担金収入などの特別利益が減少し、純利益は、前年度に比べて減少し、2億35百万円となりました。
元年度(B)	46,804,932	1,591	314	279	593	
増減(A)-(B)	△ 1,374,042	△ 7	△ 84	△ 274	△ 358	

③ 水道事業

(単位：百万円)

区分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
2年度(A)	65,536,480	4,282	1,216	10	1,226	令和2年4月に新田山田水道及び東部地域水道を群馬東部水道企業団へ事業譲渡したことにより給水実績及び給水収益は減少しましたが、事業譲渡に伴う特別損益などを計上した前年度に比べ純損益は増加しました。事業譲渡した2水道分を除いた場合、給水実績はほぼ前年並みでしたが、給水収益は県央第二水道の水道料金を値下げしたため若干減少し、純利益は、固定資産除却費などの費用が増加したこともあり、12億26百万円となりました。
元年度(B)	83,361,624	6,133	1,861	△ 11,145	△ 9,284	
増減(A)-(B)	△ 17,825,144	△ 1,851	△ 645	11,155	10,510	

④ 団地造成事業

(単位：百万円)

区 分	分譲面積 (m ²)	分譲収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
2年度(A)	56,408	1,061	△ 120	4	△ 116	産業団地の甘楽第一産業団地及び板倉ニュータウン産業用地のほか、住宅団地のふれあいタウンちよだなど、合わせて約5.7ヘクタールを分譲しましたが、前年度の分譲面積約26.8ヘクタールと比べ、約21.1ヘクタール減少したため、分譲収入が減少し、純損益は1億16百万円の純損失となりました。
元年度(B)	267,702	5,633	496	△ 50	446	
増減(A)-(B)	△ 211,294	△ 4,572	△ 616	54	△ 562	

⑤ 施設管理事業

(単位：百万円)

区 分	ゴルフ場利用人員(人)	ゴルフ場収益 及び 賃貸収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
	賃貸ビル賃貸面積(m ²) 格納庫賃貸面積(m ²)					
2年度(A)	182,323	636	△ 43	△ 562	△ 605	ゴルフ場事業の指定管理者に対して、新型コロナウイルス感染症の影響による営業休止期間の納付金を1億45百万円減額したことに加え、上武ゴルフ場の廃止に伴う減損損失を計上したため、純損益は6億5百万円の純損失となりました。
	4,468					
	2,380					
元年度(B)	231,432	714	39	0	39	
	4,031					
	2,206					
増減(A)-(B)	△ 49,109	△ 78	△ 82	△ 562	△ 644	
	437					
	174					